

平成 28 年 1 月 8 日

各 位

会社名 株式会社 T & C ホールディングス
代表者名 代表取締役 田中茂樹
(コード番号 3832)
問合せ先 取締役 松本貞子
(TEL. 03-5443-7489)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 11 月 30 日に公表いたしました平成 27 年 11 月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 11 月期 (平成 26 年 12 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日) の連結業績予想
(単位: 百万円)

	売上高	営業利益
前 回 発 表 予 想 (A)	526	△382
今 回 修 正 予 想 (B)	381	△533
増 減 額 (B - A)	△145	△150
増 減 率 (%)	△27.5	—
(ご 参 考) 前 年 同 期 実 績 (平 成 2 6 年 1 1 月 期))	513	△419

2. 修正の理由

売上高につきましては、金融アドバイザリー事業においては、25 百万円の成功報酬が見込まれたアドバイザリー業務提供が最終段階にあるものの当期中の完了とならず、売上未計上となりました。医療関連事業においては、売上未達により前回発表予想を 141 百万円下回った結果となりました。医療関連事業のうち再生医療に関する商品の販売を主に中国向けに見込んでいましたが、西安国際康復医学中心有限公司との契約解除などにより、当期中の受注ができず売上計上に至らなかったため、35 百万円の未達となりました。また同じく医療関連事業のうち医療機器製造販売は、一部受注済みのものにつき当期中の納品検収の遅れがあり、売上未達 106 百万円が生じました。

一方、ETF 関連事業において、売上高が前回予想を 21 百万円上回ったため、売上高合計額で前回発表予想を 145 百万円下回った次第です。

損益面につきましては、売上高の減少を上回って営業損失が拡大しましたが、研究開発費が当初予想より増加したことに加え粗利益率が悪化したことによります。なお、当期連結決算において、債務超過に陥る見込みです。

(注) 上記の予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上